

公益社団法人全国解体工事業団体連合会

令和7年度第2回全解工連ビジョン委員会議事録

日 時	令和8年3月12日(木) 14:50~16:26	場 所	全解工連事務局会議室 (中央区日本橋3-14-5 祥ビル5F)
出席者	[出席者] 委員長 木村順一(全解工連 副会長) 委員 杉田竜司(東北・北海道ブロック) 委員 矢野智孝(北陸ブロック) リモート出席 委員 坂本健二(近畿ブロック) 委員 坂田幹夫(中国・四国ブロック) オブザーバー 上原 満(全解工連 理事) 事務局 庄司英利		
議案	第1号議案 小委員会「project47」の立ち上げについて 第2号議案 次期(第8期)委員会への引き継ぎについて		
配布資料	資料7-2-1 全解工連ビジョン2024 資料7-2-2 全解工連 今後の活動についての確認と提言(高橋副会長作成)		

[委員会成立報告]

定刻前に出席予定者が全員揃ったので、開始時間を前倒して14:50に庄司事務局長が出席状況・資料を確認し、委員8名中5名の出席があるので委員会が成立したこと及びオブザーバーとして上原満理事の出席を議場に報告した。それを受け、木村順一委員長が開会の挨拶を行った。

[議長選出]

委員会運営規程第7条第3項に則り、木村順一委員長が議長に就任し議事を進行した。

[議事録署名人の選出]

議長が議事録署名人の選出を議場に諮ったところ、議長一任の声があったので、議長が坂田幹夫委員を指名したところ、満場一致で承認された。

[議案審議]

第1号議案 小委員会「project47」の立ち上げについて

[木村議長]:「全解工連の大きな目標の一つとして、全47都道府県での正会員団体加盟がある。全解工連ビジョン2024でも、4本柱の一つRebornにプロジェクト47(全都道府県の正会員化)を掲げた。その推進のため、具体的な形として小委員会を立ち上げることを提案したい。小委員長には未加入県が多い中国・四国ブロックに属する坂田委員が適任だと思う。」

[坂田委員]:「ご承知のとおり未加入県は中国・四国ブロックに集中している。ブロック内の他県に承認をもらって、現在広島県で4社、山口県1社、島根県2社を岡山県の協会に受け入れ、ある程度の数がまとまった時点で協会立ち上げを促そうと考えている。その延長線上の活動になるので指名があれば小委員会の委員長をお受けする。」

[矢野委員]:「中国・四国ブロックの現状は、いわば岡山モデルと言って良い。未加入県に対し、まずは岡山県などで会員を受け入れ、実務やメリットを経験してもらった上で独立を促す方法は一つの有効な方法である。」

[木村議長]:「以前に国土交通省の担当官と勉強会を開催した際に言われたことがある。全国組織と

して国土交通省などの行政機関に対し、業界の声として説得力を持たせるには、47 都道府県すべてに会員がいること及び実数としての会員数（シェア）が不可欠であるとのことであった。」

[上原オブザーバー]:「近々に未加入県の有力業者とプライベートで交流をする。そういう個人的な繋がりからもアプローチしていきたい。」

審議の結果、project47 小委員会の立ち上げを理事会に上程し、委員長は坂田委員を推薦することを出席委員全員一致で決議した。

第2号議案 次期（第8期）委員会への引き継ぎについて

[木村議長]:「本年6月5日に役員改選があり、委員会も第8期体制となって委員も入れ替わることが前提となる。その際に、現委員会として次期委員会に、ある程度の活動の方向性は引き継ぎたいと思う。」

[上原オブザーバー]:「4本柱の一つ Branding 中にある、災害時の支援・協力体制の構築として、防災協定の締結を都道府県レベルだけでなく、市町村レベルまで広げるために、先進的及び成功している都道府県が後押しを行っていった方が良い。」

[矢野委員]:「ビジョン委員会の役割は、会社でいうところの企画立案の部署だと思う。理事会へ具体的な提言を行い、各委員会（技術・安全委員会など）と連携して具現化を図ることが重要だ。」

審議の結果、現在の全解工連ビジョン2024に基づき、「新しく生まれ変わろう」「関係法令の遵守」「解体工事業の魅力発信」「輝く未来の創造」の4本柱を継続して推進することを出席委員全員一致で決議した。

その他

木村議長が、その他の事項について意見を求めたところ以下の発言があった。

[矢野理事]:「国土交通省から要請のあった解体工事施工技術講習の普及活動として、若年層や登録業者に向けたアニメ調の啓発用パンフレット案を作成した。方向性を確認していただいて、間違っていないか進めたい。」

[委員全員]:「よく出来ている。この方向性で進めていただきたい。」

[木村議長]:「青年部会が第1回全国大会の開催をCSPI開催初日に合わせ、令和8年6月17日に幕張メッセ及びホテルニューオータニ幕張とする方向で進めている。ビジョン委員会としても全面的に協力していきたい。」

[矢野理事]:「昨年に引き続き本年も、EDA（欧州解体協会）総会へ坂田委員と岡山県の仙波副会長及び矢野の3人で参加する。世界の同業者と交流を深めることは、これからの日本の解体業界にとっても重要だと思っている。」

[閉会]

以上をもって議事のすべてが終了し、16時26分に議長の閉会宣言によって令和7年度第2回全解工連ビジョン委員会を閉会した。

以上の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人1名がこれに署名する。

令和8年3月12日

公益社団法人全国解体工事業団体連合会
令和7年度第2回全解工連ビジョン委員会

議

長

木村 順一

議事録署名人

坂田 幹夫